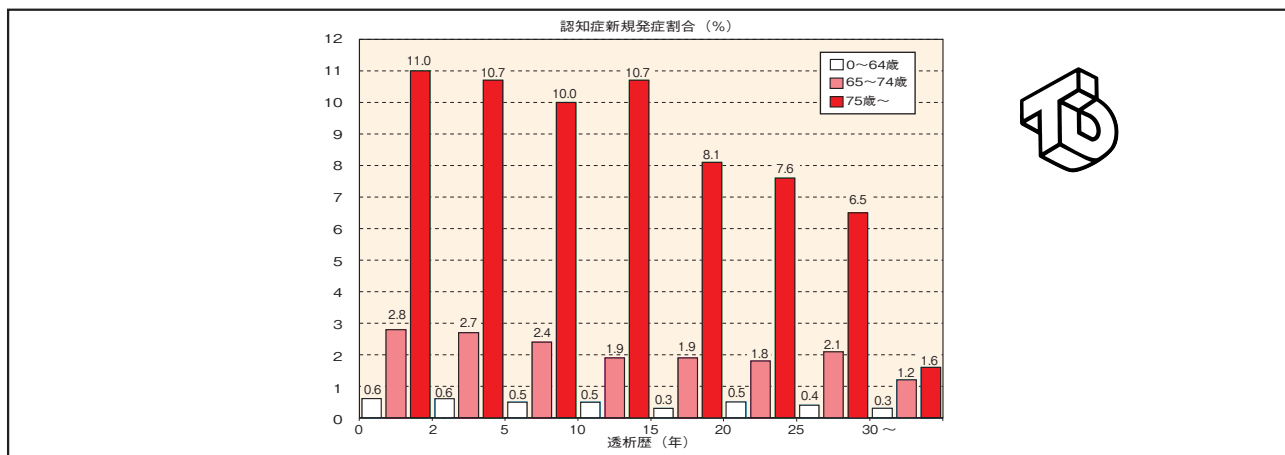


6) 認知症新規発症割合

(3) 透析歴と認知症新規発症割合 (図表37)



年齢0~64歳		2年未満	2~	5~	10~	15~	20~	25~	30~	計
認知症なし…a	5,334 (99.4)	7,138 (99.4)	9,877 (99.5)	7,061 (99.5)	4,556 (99.7)	2,569 (99.5)	1,635 (99.6)	1,019 (99.7)	39,189 (99.5)	
あり (サポート不要)…b	24 (0.4)	23 (0.3)	18 (0.3)	10 (0.3)	10 (0.2)	5 (0.1)	1 (0.1)	1 (0.1)	117 (0.3)	
あり (サポート要)…c	9 (0.2)	17 (0.2)	21 (0.2)	14 (0.2)	3 (0.1)	3 (0.1)	2 (0.1)	2 (0.2)	71 (0.2)	
合計	5,367 (100.0)	7,178 (100.0)	9,924 (100.0)	7,093 (100.0)	4,569 (100.0)	2,582 (100.0)	1,642 (100.0)	1,022 (100.0)	39,377 (100.0)	
不明	8	12	7	9	3	2	3	1	45	
記載なし	15	11	19	25	8	12	5	0	95	
総計	5,390	7,201	9,950	7,127	4,580	2,596	1,650	1,023	39,517	
認知症新規発症割合 (%)	0.61	0.56	0.47	0.45	0.28	0.50	0.43	0.29	0.48	

注：認知症新規発症割合 (%) = (b+c) ÷ (a+b+c) × 100

年齢65~74歳		2年未満	2~	5~	10~	15~	20~	25~	30~	計
認知症なし…a	3,515 (97.2)	4,486 (97.3)	5,303 (97.6)	3,355 (98.1)	2,012 (98.1)	1,150 (98.2)	667 (97.9)	418 (98.8)	20,906 (97.7)	
あり (サポート不要)…b	70 (1.9)	83 (1.8)	85 (1.6)	41 (1.2)	29 (1.4)	18 (1.5)	5 (0.7)	2 (0.5)	333 (1.6)	
あり (サポート要)…c	31 (0.9)	41 (0.9)	46 (0.8)	23 (0.7)	11 (0.5)	3 (0.3)	9 (1.3)	3 (0.7)	167 (0.8)	
合計	3,616 (100.0)	4,610 (100.0)	5,434 (100.0)	3,419 (100.0)	2,052 (100.0)	1,171 (100.0)	681 (100.0)	423 (100.0)	21,406 (100.0)	
不明	6	11	10	5	4	2	4	2	44	
記載なし	10	14	18	10	6	4	3	3	68	
総計	3,632	4,635	5,462	3,434	2,062	1,177	688	428	21,518	
認知症新規発症割合 (%)	2.79	2.69	2.41	1.87	1.95	1.79	2.06	1.18	2.34	

注：認知症新規発症割合 (%) = (b+c) ÷ (a+b+c) × 100

年齢75歳~		2年未満	2~	5~	10~	15~	20~	25~	30~	計
認知症なし…a	3,669 (89.0)	4,003 (89.4)	3,552 (90.0)	1,504 (89.3)	640 (92.0)	278 (92.4)	129 (93.5)	63 (98.4)	13,838 (89.7)	
あり (サポート不要)…b	265 (6.4)	280 (6.3)	261 (6.6)	119 (7.1)	34 (4.9)	14 (4.7)	3 (2.2)	1 (1.6)	977 (6.3)	
あり (サポート要)…c	190 (4.6)	197 (4.4)	135 (3.4)	61 (3.6)	22 (3.2)	9 (3.0)	6 (4.3)	0 (0)	620 (4.0)	
合計	4,124 (100.0)	4,480 (100.0)	3,948 (100.0)	1,684 (100.0)	696 (100.0)	301 (100.0)	138 (100.0)	64 (100.0)	15,435 (100.0)	
不明	17	15	24	10	4	0	3	0	73	
記載なし	19	12	11	1	2	0	0	0	45	
総計	4,160	4,507	3,983	1,695	702	301	141	64	15,553	
認知症新規発症割合 (%)	11.03	10.65	10.03	10.69	8.05	7.64	6.52	1.56	10.35	

注：認知症新規発症割合 (%) = (b+c) ÷ (a+b+c) × 100 患者調査による集計

解説

認知症新規発症割合に関する集計の対象となった114,127人の中から、腎不全原疾患が「糖尿病性腎症ではない」患者 76,588人のみを抽出し、透析歴と認知症の新規発症割合との関係を集計した。集計は患者の年齢により、0~64歳、65~74歳、そして75歳以上の3群に層別化して行った。

集計の結果、どの年齢層においても透析歴の増加と共に認知症の新規発症割合は減少する傾向が認められた。前回調査では、脳出血や脳梗塞の既往がなく、且つ腎不全原疾患が糖尿病性腎症ではない患者を対象に、透析歴と「認知症の合併率」について集計を行い、どの年齢層においても透析歴の増加と共に認知症合併率が減少する傾向があることを示した¹⁾。しかし、仮に認知症を発症後短時間で患者が死亡するという状況を想定した場合、いわゆる「生き残り効果」により同様の現象が観察される可能性があった。このため、前回の集計結果からのみは透析歴が認知症合併に与える影響について必ずしも明らかにすることができなかった。

今回の集計では、2009年末時点で認知症の合併が「ない」患者のみを対象に、2010年末までの認知症発症患者を集計している。従って、透析歴の長短にかかわらず認知症発症から調査までの期間は最大1年間でほぼ同等であり、認知症発症に伴う前述の「生き残り効果」は想定し得ない。従って、今回の集計結果は、長期間の透析施行が認知症の発症を「少なくとも促進しない」ことを示している。

参考文献

1) 日本透析医学会：わが国の慢性透析療法の現況 (2009年12月31日現在) CD-ROM版. 日本透析医学会. 東京, 2010.